

特別支援学級生徒作品(令和3年11月)



静藤



流水におどる桜



冬



トイレットペーパーホルダー



ゆらゆらゆら
雪がふる
ゆらゆらゆら
雪がふる
雪がふる
ゆらゆらゆら
雪がふる

踏みしめる
暮ら葉の歌と
同じだけ
君の名前で
音を立てたい

冬のひ
冬はさむい
ゆきがふる
ゆきがーせん
皆さあそぶ
ゆきであそびたい

みんみん
みんみんをくのほとみ
そうつとらかつくみ
ぼやしのじこうにうみ
さらさらかがやくみ
よびこえさこえるみ
いちばんかよしみ
とこやにいったねかみ
まっかにみのったくみ

桜
さくらだといふ
春だといふ
一寸、お待ち
どこかに泣いてい
る人もあろう

ふゆのひ
なんというしずか
みあげもせんがのよいだから
みずのようなかりが
こぼれてくる
ちりはねふるものたての
すかさねいきにあちている
くまよ あたたくしている
知い
りすよ たべものはたもるか

かえら 2017年12月24日
みゆ ほんとうにあかると
しずかだ
おや、むこうのさのせいで
んさうむしがいーびき
ねがえりそうった

詩